

# 自己紹介

某家電メーカー  
研究所勤務

組み込み系ソフトウェア  
エンジニア



# 業務分野

- デバイスドライバ
- ミドルウェア
- フレームワーク
- オブジェクト指向導入



# 但し書き

会社として取り組んでいるわけではありません  
個人活動として  
「日本Androidの会」  
に参加しています



なぜ、  
組込み技術者として  
Androidに  
取り組むのか



Web2.0が  
羨ましかった！



- **クラウドを利用できる組み込みPFを検討していた**
  - 組み込み機器でのクラウドの利用には壁があった
  - 予期しないデータでの機器のクラッシュ
  - 各社独自のポータルを用意して独自のデータを利用していた
- **機器内部のデータの更新にも検証が必要**
  - 莫大なデータ検証と動作保証
- **組み込み機器にサービスという概念を取り込むことができないか？**
  - ガジェット・プラグイン
  - 他のサービスの利用
  - マッシュアップ



増大するソフト開発  
を新しい視点で改善  
できる可能性



- **組み込み機器の開発規模の増大は限界に近い**
  - オブジェクト指向
  - ソフトウェアプロダクトライン
  - カイゼン活動(CMMIなど)
- **ソフト開発工数を削減する手法**
  - **機能 サービスとして実装する**
    - 機能の疎結合化
  - **シンプルなアプリの組み合わせ**
    - マッシュアップ
  - **開発のパラダイムシフト**



メーカー間の差別化が難しくなるのでは？



ネットワーク

クラウド

- ・ 固定データ
- ・ 機器同士の連携
- ・ センサの活用

進化した  
組み込み機器

キーボード・マウス

フィジカル（直感的）

スタンドアロン

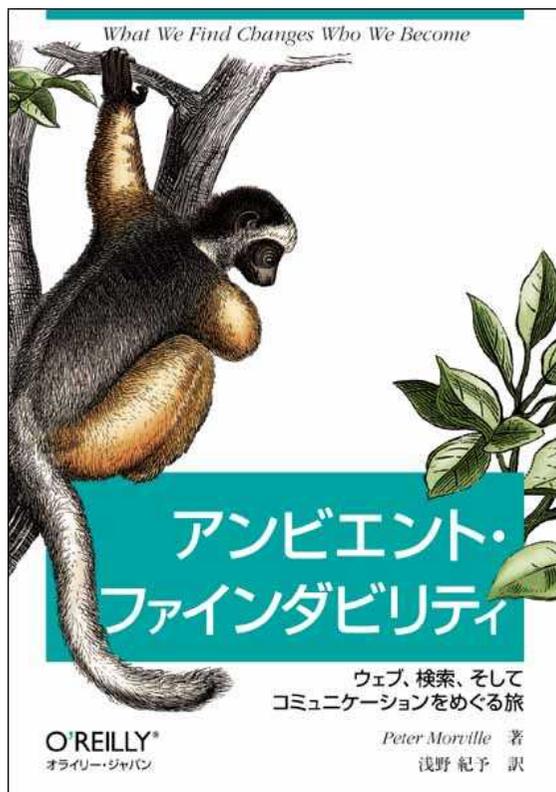


Androidが  
組み込まれることで  
何がうれしいのか



# ユーザーから見て

# 情報の山から いつでもその 時必要な情報 を得られる



# 開発現場から見て

## 多機能・多機種生産

## からサービス化で

## グローバルへ展開



どんな機器に  
Androidを載せると  
面白いのか



アンビエントな  
デバイスが  
意外と面白そう





# アンビエントな エージェントロボット

嗜好データとクラウド連携

- 薬の時間を教えてくれる
- TVの時間を教えてくれる
- 詳細は別のデバイスでわかる

